令和６年度　仙台市立山田中学校　協働型学校評価

＜到達目標＞
互いに高め合い　より良い人間関係を築く生徒の育成

＜令和６年度　重点目標＞
家庭・地域・学校で自発的に貢献する生徒の育成

＜　三者協働で実現を目指す具体的な生徒像　＞

- ○　学校・・・相手を認め思いやる言動ができる生徒
- ○　家庭・・・家族との会話を大切にし、感謝の気持ちを持てる生徒
- ○　地域・・・積極的に挨拶ができ、地域の行事で活躍できる生徒

（学校）

- 様々な教育活動の中で生徒と教師、生徒同士が関わる場面を積極的に設ける。
- 相手を認め、思いやる言動を積極的に賞賛し、紹介する。
- 道徳の時間やわくわくタイムを中心に、心の教育や人との関わり方の充実を図る。

支援
助言

協働
連携

協働
連携

山　中　生

支援
声掛け

声掛け
見守り

（家庭）

- 親子の会話を大切にする。
- 授業参観など、学校に行く機会を増やし、子どもの頑張りを認める。
- 地域の行事に関心を持ち、親子で積極的に参加する。

協働
連携

（地域）

- 地域の行事は保護者へも参加を呼び掛け、中学生が活躍できる場も設ける。
- 登下校時、挨拶など積極的に声を掛ける。
- 学校行事など、学校に行く機会を持ち、中学生と接し、会話を心掛ける。